

道徳科

第1学年

呉市立広南小学校

指導者 T1 大瀬戸 春菜
T2 山崎 聖子

主題名

じぶんの よさ

教材名

ええところ（東京書籍）

内容項目

A-4『個性の伸長』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

- 1 対象・日時 第1学年1組 男子3名 女子6名 計9名
令和7年1月23日（木） 第5校時

2 主題設定の理由

- 本主題は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」小学校第1学年及び第2学年の内容項目A－（4）「自分の特徴に気付くこと。」をもとに設定したものである。この段階においては、自分自身を客観視することが十分にできるとは言えない。児童が自分の特徴に気付く契機となるのは、他者からの評価によることがほとんどである。ほめられて嬉しかったことが、自分のよさや長所につながることに気付いたり、叱られて注意されたことが、短所につながることに気付いたりすることがある。このような他者との関係によって自分の特徴を知ることになるが、児童がそのことを自身で実感することによって、自分の特徴への気付きがより確かなものになる。そのような発達の特性を生かし、児童の長所を積極的に認め、励まし、児童自身が具体的な場面で芽生えてくる自分の長所にできるだけ多く気付き、よさを大切にしていけるようにしていきたいと考える。
- 本学級の児童は、1学期に「いいところ見つけ」で、日直のよいところを見付けて伝える取組を行った。そこには、「字がきれいだね。」や「いつもニコニコでかわいいね。」などと、友達のよいところを見付けることができた。よいところを教えてもらった児童は、とても嬉しそうに話を聞く姿が見られた。2学期に行った事前アンケートでは、次のような結果が見られた。

☆ 自分にはよいところがある。

ア はい 8人

イ いいえ 1人

☆ 自分のよいところは、どんなところだと思いますか。（自由記述）

- ・一人での友達と一緒に遊んであげたこと。
- ・先生のお手伝いをする。
- ・友達の係の仕事を手伝うこと。
- ・順番を譲ってあげられること。
- ・友達と遊ぶこと。
- ・優しいところ。
- ・落とし物を届けること。
- ・未回答2名（8人中）

上記の結果から、多くの児童は自分にはよいところがあり、どんなところがよいか、理解することができていると考えられる。しかし、質問1で「自分にはよいところがある」と回答したにもかかわらず、どんなところがよいか答えることができていない児童もあり、自信をもって自分のよいところを答えられない児童もいる。さらに、1学期の「いいところ見つけ」でよいところを友達に教えてもらっても、自分では肯定的に捉えることができず、よいところがないと答えた児童もいた。

このような実態から、本教材を通して、児童が具体的な場面で芽生えてくる自分の長所にできるだけ多く気付き、実感させ、大切にしていこうとする心情を育てていきたいと考える。

- 本教材にでてくる「わたし」は、自分には「ええところ」がないと思っている。しかし、友達のともちゃんは、手が温かいということ、さらには「みんなにやさしい」というすばらしい「ええところ」を見付けてくれる。自分の「ええところ」に気付くことができた「わたし」の気持ちの変化について考えることができるとともに、友達のよさを見付けることができるともちゃんのすばらしさを感じ取ることができる教材であると考ええる。この教材を通して、児童には一人ひとりそれぞれのよさがあり、お互いのよさを認め合うことにより自分の特徴に気付き、それを自分の長所として大切にしようとする心情を育みたいと考える。

指導にあたっては、事前に、児童に自分のよいとことを考え、ワークシートに記入させておく。導入で、書かれていたことを紹介するとともに、悩んで中々書くことができなかったことにも触れ、自分のよいところを見付けていこうという課題意識をもたせることで、ねらいとする価値への方向付けを行いたい。

展開前段では、まず、ともちゃんに「わたしのええところ教えて？」と言ったが、「明日までに考えてくるわ。」とすぐに答えてもらえなかったときの「わたし」の気持ちを考えさせることで、「ええところ」が分からず自信がもてない気持ちを押さえる。次に、ともちゃんが「ええところ」を見付けてくれて、みんなが手を握りに来たとき、「わたし」はどのような気持ちになったかを考えさせることで、自分のよいところが見つかった時の安心した気持ちを捉えさせる。更に、みんなの手を温めた後、あいちゃんに「手が冷たい。」と言われたときの「わたし」の気持ちを考えさせることで、やっと見付かった自分のよいところがなくなってしまう悲しい気持ちでいる様子に気付かせる。中心発問では、自分の一番「ええところ」を教えてもらったときのあいちゃんと、ともちゃんの様子を役割演技させることにより、「ええところ」を教えてもらって自信がもてたあいちゃんの気持ちや、よいところを伝え合うことのよさに気付かせたい。

展開後段では、教師の「ええところ」をあいちゃんとともちゃんになりきって役割演技で伝えさせることで、「ええところ」を伝え合う二人の様子をより味合わせるとともに、次の活動に繋げていく。その後、グループの友達のよいところを見付けて伝え合う活動を通して、自分のよさに気付き、大切にしていこうとする心情を育てたい。最後に、改めて自分の「ええところ」について振り返り、ワークシートに記入させることで、自分の「ええところ」が増えたことを実感させ、自信をもたせたい。終末では、児童一人ひとりのよいところや児童の保護者からのメッセージをスライドショーにまとめて児童に視聴させることで、自分のよいところをたくさんの人が認めていることに気付き、自信をもって長所を大切にしていこうとする心情を育てたい。

3 他の教育活動との関連

「わたしのええところ大はっけん」プロジェクト

子どもの姿

Before

友達にされて嬉しかったことや、「私はきれいな字が書けないからきれいな字が書けていてすごいな。」等、友達のよいところを見つけて伝えることができています。しかし、自分にはよいところがあると答える児童は多くいるが、「えがお」や「げんき」等抽象的で、具体的に答えられなかったり、友達に見つけてもらったよいところを自分のよいところだと実感できていない児童や、自分のよいところを答えられなかったりする児童もいる。また、自分が何気なくしている行動が自分の長所でもあるということに気付いていない児童が多い。

アンケート

- ① 自分にはよいところがありますか。
- ② 自分のよいところは、どんなところだと思いますか。

事前活動

【学級活動】きょうのきらり

帰りの会の時間に、クラスや学校のためになることをしていた友達を紹介したり、友達にされて嬉しかったことを紹介したりする活動を通して、自分にはよいところがあるということを実感させ自己肯定感を高める。

【学級活動】係活動

係活動の様子を振り返らせることで、自分の行動がクラスみんなの役に立っていることを感じさせる。

【道徳科】教材名：「ええところ」（本時）

自分の「ええところ」に気付くことができた「あいちゃん」の気持ちを考えるとともに、「あいちゃん」と「ともちゃん」のように友達との関わりの中から自分の長所に気付き、大切にしていこうとする心情を育む。

内容項目：A—（４）個性の伸長

事後活動

【学級活動】『見つけた！わたしのええところ』

友達のよいところや自分のよいところをさらに増やしていく活動を通して、自分にも友達にもそれぞれ違ったよさがたくさんあることに気付き、自分の見つけたよいところを好きになり、大切にしていこうとする心情を育む。

子どもの姿

after

落ちた消しゴムを拾ってあげたり、係の仕事を責任もって行ったりすることは、人の役に立つ行動でもあり、そのような行動をすることができるのは自分のよいところでもあるということを理解し、自分のよいところに自信をもち、大切にしている。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

「いちばんええところ」を知ることができたときの様子を役割演技することを通して、よいところを見付けたり、伝え合ったりすることのよさに気づき、自分のよさを大切にしようとする心情を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意(・) 評価の観点(☆)
導入 (5分) 課題意識をもつ	1 本時の課題を確認する。	○ みんなが書いてくれた「自分のいいところ」を紹介します。 じぶんのよさを見つけよう。	・ 事前に自分のよいところをワークシートに記入させ、書かれていたことを伝える。 ・ 「よいところ」が書けなかった児童の気持ちに共感し、自分のよさを見付けたり、増やしたりしていくという課題意識をもたせる。
展開前段 (20分) 学びを深める	2 絵本「ええところ」を読んで話し合う。	○ ともちゃんに「あしたまでに かんがえてくるわ」と言われ、あいちゃんはどうな気持ちになったでしょう。 ・ 悲しい。 ・ 「ええところ」がないのかな？ ・ すぐに言ってくれないんだ・・・。 ・ わたしの「ええところ」ってすぐに見つからないの？ ○ ともちゃんが「ええところ」を見付けてくれて、みんなが手を握りに来たとき、あいちゃんはどうな気持ちだったでしょう。 ・ 手が温かいって、「ええところ」なんだ。 ・ 「ええところ」があってよかった。 ・ みんなが握りにきてくれて嬉しい。 ・ いいところを見付けてくれてありがとう。 ○ ともちゃんに「手が冷たい」と言われて、あいちゃんはどうな気持ちだったでしょう。 ・ 悲しいな。 ・ わたしの「ええところ」がなくなった。 ・ やっぱりわたしには「ええところ」がないんだ。 ・ どうしよう。	・ 事前にTTで役割読みした映像を見せながら教材提示することにより、児童が場面を想像し、物語に浸りながら聞くことができるようにする。 ・ 「ええところ」をすぐに教えてもらえず、自信がもてない「わたし」の気持ちに気付かせる。 ・ 「ええところ」を教えてもらい、安心した「わたし」の気持ちに気付かせる。 ・ やっと見付かった「ええところ」がなくなってしまった「わたし」の悲しい気持ちに気付かせる。

	役割演技のルール ① 演じる人は 恥ずかしがらず、主人公になりきって堂々と演技をする。 ② 見ている人は あいちゃんと、ともちゃんが話している様子を見て、どんなことに気付いたかも考えながら聞く。	◎ 「みんなにやさしいのが、あいちゃんのいちばんええところや。」と教えてもらったあいちゃんは、この後ともちゃんとどんなことを話したでしょう。【役割演技】 【T 1：ともちゃん 児童：あいちゃん】 【役割演技（全体①）】 (教)「みんなに優しいのが一番ええところや。」 (児)「わたしって、優しいんだ。」 (教)「どうしてみんなの手を温めてくれたの？」 (児)「みんなが冷たそうにしていたから温めてあげたいと思ったんだよ。」 (教)「やっぱり優しいな。」 (児)「ありがとう。」 【役割演技（全体②）】 (教)「みんなに優しいのが一番ええところや。」 (児)「一番が見付かってうれしいな。」 (教)「あいちゃんのおかげでみんなの手がぽかぽかになったよ。」 (児)「よかった。これからもわたしがみんなをぽかぽかにしてあげるね。」 (教)「わたしにもええところってあるのかな。」 (児)「わたしのええところを一生懸命考えてくれたところだよ。」 (教)「ありがとう。」 【聞いている児童】 ・ いいところを見付けるのはいいな。 ・ ころがぽかぽかになった。 ・ わたしも、いいところを見付けたい。	・ 役割演技前、「ええところ」を教えてもらってあいちゃんはどうな気持ちになっているかを問うことで、役割演技の場面の様子を児童により明確にイメージできるようにする。 ・ 「いちばんええところ」を知ることができたときの様子を役割演技することで、よいところを覚えてもらい自信がもてた「わたし」の気持ちや、よいところを見付け合うことのよさに気付かせる。
展開後段 (15分) 振り返る	3 先生や友達の良いところを見付け、伝える。	○ 大瀬戸先生にも「ええところ」ありますか。 【役割演技】 (教)「大瀬戸先生にもええところあるのかな。」 (児)「優しいところがええところだよ。」 (教)「どんなところが優しいと思う？」 (児)「みんなに勉強を教えてくれるところだよ。」 (教)「すごくうれしいよ。ありがとう。」	・ あいちゃんや、ともちゃんの役割演技のように、先生の「ええところ」を伝えることで、次への活動に意欲をもたせる。

	※ 3人グループで行い、1分間、1人の児童が他2人の児童に「ええところ」を教えてもらおう。(3人分行う)	○ グループの友だちの「ええところ」を伝え合いましょう。 (児童A)「わたしのええところってどこなんだろう。」 (児童B)「係の仕事を頑張っているところだよ。」 (児童C)「この間、黒板を消すの手伝ってくれてありがとう。」 (児童A)「見付けてくれてありがとう、ほかには・・・。」 (児童B)「足も速いね。」 (児童C)「持久走の練習頑張ってたすごいよ。」 (児童A)「教えてくれてありがとう。」	・ 伝え合う活動を通して、自分の新たなよさに気付いたり、再認識したりして、実感できるようにする。 ・ 役割演技のように伝えることで具体的な場面で芽生えている長所を伝えたり、気付いたりできるようにする。 ・ 伝え合った後、「ええところを伝え合ってたどんな気持ちになったか」を問う。
	4 自分のよいところについて振り返る。(ワークシート→発表)	○ 自分の「ええところ」はどんなことだともいいますか。 ・ 最初は、優しいところが「ええところ」だと思ったけど、たくさん発表ができる場所も「ええところ」だと分かった。 ・ 最初は「ええところ」がなかなか見付からなかったけど、いつも笑顔がかわいいところが「ええところ」だと分かった。自分のいいところを大切にしたい。	・ 事前に自分の「ええところ」を書いたワークシートを配り、新たに見つかった「ええところ」を赤鉛筆で書き足すことにより、自分の「ええところ」が見付かった嬉しさを味合わせる。 ・ 自分のよさについて改めて考え、大切にしようという意欲をもてるようにする。 ・ 発表時は前の自分と比較しながら発表させる。
終 末 (5分)	5 動画を流す。	○ 動画を見てください。 ・ 私って、友達に優しくできているな。 ・ お母さんが私のいいところを言ってくれて嬉しいな。 ・ 2年生や縦割りのお兄さんも、わたしのいいところに気付いてくれているんだな。	・ 児童のよいところを映像で示すことにより、自己肯定感を高め、自分の行動やよいところに自信をもたせる。 ・ 動画終了後、感想を聞くことで、「ええところ」が見れてうれしい気持ちを共有する。

5 板書

ええところ

じぶんのよいところを見つけよう。

場面絵①

・すぐにでてこないの？
・ええところないのかな。
・悲しい。

「あしたまでにかんがえるわ。」

「あいちゃんので、すごくあったかい。」

場面絵②

・うれしい。
・ありがとう。
・手があったかくてよかった。

場面絵③

・ええところないの？
・やっぱりわたしつて・・・
・どうしよう。

「あいちゃんので・・・
つめたいねん。」

「みんなにやさしいのが
いちばんええところや。」

場面絵④

・一ばんええところが
見つかった。
・見つかったよかった。
・うれしいな。
・大せつにしていこう。